



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・カンファレンスやミーティングにおいて設定した課題と方針を踏まえ、具体的な支援内容の設定に努める	・支援内容は実施しているが、家族へより理解を促すための表記工夫が必要である ・今後、個別支援計画の項目の見直しが必要である
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個別支援計画に沿った月の目標を立てて支援し、達成度を確認している	・個別支援計画の目標を保育活動へ般化する方法の検討
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラス担任及び関係スタッフ間で月案の内容を検討している	・クラスごとの年間計画や月案を計画的に立案する
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもの発達に合わせてプログラムを変え、同じ活動を繰り返す場合には説明を行っている	・今後も活動やねらいをわかりやすく伝えるための工夫が必要
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・集団の中で個別の対応を行うことが中心の場合もある ・リハスタッフからの個別の関わりを行っている	・活動が個別支援計画にどのように反映させられるか検討が必要である
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・登園前に確認している	・今後も個々の子どもの様子をイメージし打ち合わせを継続する
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・担任間で、親子の様子で気になる点を共有する ・保護者からの情報等詳細を記録する ・看護師やセラピストと必要時振り返りを行う	・今後も継続する
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の記録は欠かさず、支援の検証・改善を常に心がける	・今後も継続する
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月ごとに実施している	・今後も継続する
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達管理者と担任が参加している	・今後も継続する
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要時保健師や相談支援員と情報交換を行った	・今後も必要時連携を継続する	
㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要時個々に応じてコーディネーターや相談支援専門員を含め関係機関との連携会議に出席し、電話連絡を行っている	・今後も継続する	
㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・当センターの主治医や看護師が調整し、医療情報の提供や、サポートブックを作成し、緊急時等の対応について確認する等連絡体制を整えている	・今後も継続する	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>電話や見学等情報交換を行っている</li> <li>通園添書及びサポートブックを作成し、引継ぎを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なケースについては、担当者会議を実施することも検討を行う</li> </ul>
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>通園添書及びサポートブックを作成し、引継ぎを行う</li> <li>学校職員の見学やビデオ視聴により情報共有や相互理解を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>他機関に対し、学術集会や療育研修報告会の案内を行う</li> <li>サービス担当者会議に参加している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他機関の施設の機能について、情報収集に努め、利用者へのサービスにつなげていく</li> </ul>
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスによって実施しており、保護者の希望を確認して参加している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流保育以外でも、気軽に利用できる場の検討</li> <li>発達系クラスは現在未実施のため、検討を行う</li> </ul>
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在参加していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当センター内の他部署が参加しているため、情報収集に努める</li> </ul>
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子通園のため、その場で確認できる</li> <li>連絡ノートを活用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での支援・対応方法など具体的に説明、実践し、家庭内で般化できるようにしている</li> <li>保護者講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケース勉強会を行う事で内容の充実を図る</li> </ul>
保護	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>運営規定を自由に閲覧できるようにしている</li> <li>利用者負担等は文書を渡し、園長や医事職員が個別に説明を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧可能なことをご家族に周知する</li> <li>入園オリエンテーション時に、より丁寧な説明を行う</li> </ul>
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画を提示し、説明し同意を得ている</li> <li>ガイドラインに沿った説明の仕方が統一されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画の項目の見直し、ガイドラインに沿って説明できるよう、職員の研修が必要</li> </ul>
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に相談できる環境であり、連絡ノートでのやり取りを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子通園の中で保護者同士の連携や交流が取れるよう、2クラス毎の音楽活動の実施</li> <li>保護者のみで昼食の時間を設けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士の連携が取りやすい工夫をしており、更に、行事の目的を説明し、意見の集約を行うことが必要</li> </ul>

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者への説明責任	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談申し入れの際は、担任や園長が対応しており、迅速に対応するよう心がけている</li> <li>苦情を入れる投書箱を設置していることを案内している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情や相談等の申し込みに、迅速かつ適切な対応ができるよう、年間を通じて計画的なアナウンスが必要</li> </ul>
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月「園だより」を発行している</li> <li>肢体系クラスは月の活動内容を掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの活用</li> <li>クラスに月の活動内容を掲示</li> </ul>
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動規範チェックリストをつけ、事業所全体で確認を実施する</li> <li>通園内の写真可否について保護者への確認</li> <li>実習生には守秘義務の徹底を文書で取り交わしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的に分かりやすく絵で表示したり、平仮名や平易な言葉での対応を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>当センター全体で「あだちまつり」を開催している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>当センター内で、マニュアルを作成し、各部署に配置している</li> <li>地震、防犯訓練を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災訓練は毎月定期的に行っているが、防犯、地震等は年に数回実施</li> <li>職員への周知徹底と保護者への周知も行うことが必要</li> </ul>
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>火災訓練は毎月実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>入園前の面接やアセスメント表にて、担任・看護師が確認している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の診断書をもとに対応</li> <li>入園前の面接やアセスメント表にて、園長・看護師・担任・栄養士が確認している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>通園内では、毎日報告をし情報の共有を図っている</li> <li>月1回リスクマネージメント委員会を開き、報告を行うとともに、議事録を回覧し職員全員に周知を図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月毎の事例は回覧しているが、事例集については検討</li> </ul>
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権を含め、職場研修があり、自己評価も行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時ベルトや手袋の使用など保護者と確認している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なケースには身体拘束に対する同意書を作成し、個別支援計画に記載する</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。